

県文連ふくおか

題字／貫 正義

令和4年10月

71号



3
年
ぶ
り

交流会開催



福岡県文化団体連合会

表紙の光景

3年ぶり

今年の流行語大賞候補に「3年ぶり」というのはいかがだろう。コロナ禍に泣かされた博多祇園山笠をはじめ夏祭りや花火大会、運動会など、全国各地で3年ぶりの復活ラッシュだった。

古い演歌世代になると「逢いたかったぜ、三年ぶりに……」が口をついて出る。往年の名歌手、岡晴夫のヒット曲『逢いたかったぜ』の歌いだした。「逢えてうれしや」と続き、吞もうじゃないか、語ろじゃないか、と呼びかける。

わが県文連の理事会交流会も人並みに復活できた。

みんなで逢えて、吞んで語り合っ
て、歌いまくって、の楽しいひと時。
創立30周年の記念クイズもあって
先人の苦勞も偲べた。

そして、さあポストコロナの文
化創造へ。県文連は今、新しいス
テージに踏み出した。

もくじ

ポストコロナの文化を模索

● 県文連新体制スタート……………	3	● 県民文化大学・ふるさと文化講座後半へ……………	12
創立30周年の節目		● ふるさと文化誌第11号「豊前にしえの旅」……………	12
田中氏、石川氏が新副会長に就任		● 井生・是澤連携 青春座「空翔ける虎」……………	13
● 3年ぶり開催 交流会……………	4	● よみがえる太宰府「時の記念日の行事」……………	14
アトラクションで美声を披露		「辰山会」事務局 高瀬昭登	
● 令和4年度定例理事会……………	4	● 地域文化芸術フォーラム＆リーダー研修会……………	15
● 交流会「県文連創立30周年クイズ」……………	6	「つなぐ 伝える」をテーマ 10月13日開催	
県文連をもっと知ろう		● 福岡文化連盟「天神文化塾」開講中……………	16
● 九響「第九」公演……………	7	● 北原白秋没後80年「交聲曲 海道東征」……………	16
● 訃報 伊藤晃績さん、井口城勝さん……………	7	團伊久磨作曲合唱組曲『筑後川』も	
● 第30回ふくおか県民文化祭2022……………	8	● ウクライナ留学生支援「鯉の会」日舞で交流……………	18
「咲かせよう輝く未来へ！文化とともに」		● 「冬野」前主宰阿比留さん 句集「波濤」刊行……………	18
● 芸術体験講座……………	9	● 吉塚だより……………	19
● 俳句……………	10		
● 短歌……………	11		

創立30周年を迎える 県文連新体制がスタート

県文連執行体制 (令和4年度)

役 職	氏 名
名誉会長	はつ 服 部 誠 太 郎
会 長	ぬき 貫 正 義
理 事 長	う だ 字 田 川 の 宣 人
副 会 長	た 田 中 正 直
〃	い 石 川 純 一
〃	と 徳 永 吉 之
副理事長	は 林 田 ス マ
専務理事兼事務局長	い 江 崎 雅 彦
常任理事	きた 北 里 晋
〃	た 田 中 正 直
〃	き 井 佐 子
〃	い 石 橋 豊 子
〃	の り 能 間 瀧 次
〃	の う 内 野 博 夫
〃	よ 吉 岡 幸 夫
〃	か 紙 野 美 寿 江
〃	お 岡 田 猛 彦
〃	い 石 川 純 一
〃	か 笠 井 栄 俊
〃	お 小 田 幸 久
〃	た 田 島 安 江
〃	か 片 山 健
〃	か 樫 島 禪 徹
〃	た 高 松 大 輔
〃	こ 古 賀 透
監 事	た 高 瀬 昭 登
〃	よ 米 村 旭 翔
〃	まつ 松 尾 英 輝
〃	まつ 松 崎 栄 一
参 与	は 井 原 絹 江
〃	や 山 村 子
調 査 役	な 竹 川 克 幸
顧 問	まつ 松 尾 新 吾
〃	き 尾 澤 清 一
〃	な 長 澤 幸 司
〃	か 河 村 哲 夫
〃	お 大 野 美 保 子
〃	い 井 生 定 巳

※太字は新任。



徳永 吉之 氏



石川 純一 氏



田中 正直 氏

副会長は3人制で、県庁
ラ連盟代表を選んだ。

市城南区在住。72歳。



高松 大輔 氏



岡田 猛彦 氏



石橋 豊子 氏

任された。

（分野別Ⅶゲ
ループⅡ若者・
教育文化）が
常任理事に選

文化連盟会長

高松大輔県高
等学校芸術・

協会長（京築
ブロック）、

彦楽上町文化

岡Ⅱプロッ
ク、岡田猛

化協会長（福

を受けて、新た

副会長に田中、
石川両氏が就任

役員人事

から徳永吉之県人づくり・県民生
活部長が就任している。

また、地域別、分野別団体の人事

ポストコロナの文化運動めざして

新常任理事に
石橋、岡田、高松3氏

3年ぶり、にぎやかに和やかに 祝舞「千代の松」で開幕 「30周年クイズ」も



会長をつさざい

フターコロナのこれから、どのように文化活動を発展させるか、改めて考える時でしょう」と訴えました。

さらに、10月から繰り広げ第30回ふくおか県民文化祭について「コロナで不完全燃焼だった2年間を吹き飛ばす意気込みで取り組みましょう」と力強く呼びかけました。

会長挨拶に続いて、交流会開催を祝って日本舞踊協会県支部役員で、花柳流師範の花柳鶴貴三さんが祝舞「千代の松」をあでやかに披露しました。

この後、宇田川宣人理事長が乾杯の発声で、互いに杯を交わして懇親パーティーに移りました。

食事、歓談が進んだところで、進行役の江崎雅彦専務理事・事務局長

が粹な提案を持ち出しました。「県文連創立30周年クイズ」で、まず出席者全員に起立を求め、間違えた人は座る、というサバイバル戦です。

全部で10問。最後まで立ち残った数人には「I♥県文連賞」が贈られました。賛助会員の(株)ひよこ提供のひよこサブレ、(株)山口油屋福太郎のめんべいのセットです。(県文連創立30周年クイズ)は6pに掲載)

この後、会長の「無法松の一生」を皮切りに、恒例のカラオケの競演が繰り広げられました。10人はいずれ劣らぬノド自慢でした。

フィナーレは笠井さん、別府さん、梶島さん3氏による祝いめでた。そして、いよいよ最後は、おなじみ本山さんの博多手一本で締めです。

林田スマ副理事長の閉会の言葉で、これからの健闘と再会を誓いあってお開きになりました。



閉会の辞を述べる
林田副理事長

令和4年度定例理事会

令和4年度の定例理事会は7月6日午後、吉塚の博多サンヒルズホテル瑞雲の間に70人が出席して行われ、同年度の事業計画と予算案を審議し、原案通り承認した。

また、県文連が今年11月に結成30周年を迎えるのを祝って、来年1月31日に、記念式典・祝賀会、記念誌発行など記念事業を行うことを決めた。

出席理事からは「会員の高齢化が進む一方、若者は参加に消極的。打開策を」などの意見が出、宇田川理事長が「加盟団体共通の悩みであり、地域文化芸術フォーラムなどの機会に議論を深めたい」と応えていた。

【議事の概要】

▼第1号議案(会員の異動) 特別個人会員に木下良弘氏が入会。酒井悦子氏、石井のり子氏退会。伊藤晃績氏、井口城勝氏のご逝去。

▼第2号議案(役員の選任) 3ページに詳報

▼第3号議案(令和3年度事業報告、決算) 第29回県民文化祭は一部にコロナ中止も出たが、分野別11、地域別5事業など主催事業31、

アトラクション

【祝舞】「千代の松」花柳鶴貴三日
本舞踊協会県支部役員
【創立30周年クイズ】
【カラオケ】①「無法松の一生」貫正
義県文連会長②「正調博多節」梶島

禅徹香りの会代表③「襟裳岬」高瀬
昭登県文連監事④「愛の讃歌」稲田
博子春日市文化協会副会長⑤「青春時代」竹川克幸県文連調査役⑥
「川の流れるように」熊谷栄亮県吟
剣詩舞道総連盟⑦「細雪」是澤清一
県文連顧問

【吟詠】⑧山崎修二筑紫野市文化協
会副会長
【祝いめでた】笠井栄俊県吟剣詩舞
道総連盟会長、別府正紀春日市文
化協会会長、梶島禅徹香りの会代
表
【博多手一本】本山道徳特別個人会員



宇田川理事長 乾杯発声



「千代の松」を踊る花柳鶴貴三さん



「愛の讃歌」稲田博子さん



「細雪」是澤清一顧問



「祝いめでた」左から
梶島さん、笠井さん、別府さん



吟詠「川中島」山崎修二さん



県文連クイズ優勝者 小田幸久さん



県文連クイズの様様



就任あいさつをする右から
田中副会長、石川副会長、石橋常任理事

協賛事業24を行い県民7万人が参加した。東京五輪協賛福岡和文化プロムナードは7月29日、千人余が参加、盛況だった。当期収入3,145万2千円。支出3,049万8千円。

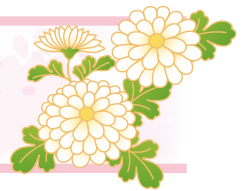
▼第4号議案令和4年度事業計画、予算）第30回県民文化祭、県民文化大学、県民ふるさと文化講座、現地探訪、地域文化芸術フォーラムを開催。ふるさと文化誌、会報を発行。九州・沖縄文化団体連絡会議を長崎県で開催予定。収入3,521万1千円、支出3,423万円。

▼第5号議案（創立30周年記念事業）記念式典、祝賀会 令和5年1月31日開催



県文連創立30周年クイズ

県文連をもっと知ろう



Q、2
県文連初代会長はどちら？

- A 大野 茂
- B 松尾 新吾

Q、1
県文連の設立はいつ？

- A 平成4年（1992年）11月
- B 平成3年（1991年）4月

Q、4
県文連地域別団体は63団体ありますが、
そのうち3団体は昭和20年代に設立されま
した。古い順に並べるとどちら？

- A 大牟田文化連合会 — 田川文化連盟
— 久留米連合文化会
- B 田川文化連盟 — 久留米連合文化会
— 大牟田文化連合会

Q、3
平成16年に福岡県で開催された第19回国
民文化祭「とびうめ国文祭」のイメージソ
ング「人生号 JinseiGO」を歌ったのは？

- A 氷川きよし
- B 甲斐よしひろ

Q、6
県文連会員団体で最も構成員が多いのは
北九州文化連盟である。○ × どちら？

- A ○
- B ×

Q、5
県文連分野別団体は26団体ありますが、
そのうち3団体は戦前の設立です。古い順
に並べるとどちら？

- A 福岡三曲協会 — 帝国華道院九州
連合会 — 筑前琵琶福岡旭会
- B 筑前琵琶福岡旭会 — 福岡三曲
協会 — 帝国華道院九州連合会

Q、8
若き日の宇田川理事長が過ごした
海外の都市はどちら？

- A パリ
- B ニューヨーク

Q、7
宇田川理事長の生誕地はどちら？

- A 神奈川県
- B 埼玉県

Q、10
今年開催される「第30回ふくおか県民文
化祭2022」のテーマは？

- A 「咲かせよう輝く未来へ！文化
とともに」
- B 「新たな文化のステージへ」

Q、9
林田スマ副理事長の半生記が令和2年3月
から西日本新聞で連載されましたが、そ
の題名は？

- A 「おかげさまで」
- B 「おかあさんにバンザイ」

九響、小泉指揮で「第九」 福岡はアクロスに戻る

九州交響楽団年末恒例の「第九」演奏会は、12月24日、北九州市ソレイユホールで、翌25日、アクロス福岡



岡シンフォニーホールで行う。アクロス福岡公演は、改修が終わって一年ぶり。

ベートーヴェン交響曲第9番二短調「合唱付き」は、両会場とも小泉和裕指揮で、ソプラノ並河寿美、アルト清水華澄、テノール望月哲也、バリトン山下浩司。合唱は北九州会場が北九州市民フロイデコール、福岡会場は九響合唱団。

訃報

伊藤晃績さん御逝去



（前吟剣詩舞道総連盟会長）
5月2日、84歳で逝去。本名征方。令和2年まで11年間県文連常任理事。『ふるさと文化誌』シリーズの写真を担当。平成21年には『五足の靴』写真展。

井口城勝さん御逝去



（城勝流城勝吟道会会長、前筑後市文化協会会長）
5月24日、83歳で逝去。本名恵弘。元九州吟剣詩舞道連盟理事長。平成30年まで二度、通算7年間県文連常任理事。同23年県地域文化功労者表彰。

県文連創立30周年クイズ解答

	解答	解説
Q1	A	県文連は平成4年11月の設立。設立総会は平成4年11月24日にリーセントホテルで開催。
Q2	A	初代会長は大野茂氏（当時九電社長）。副会長は江頭慶典氏、森脇憲三氏、白石竹泉氏
Q3	A	イメージソング「人生号 JinseiGO」氷川きよしが歌いました。甲斐よしひろは作曲です。
Q4	B	田川文化連盟 昭和22年設立、久留米連合文化会 昭和24年、大牟田文化連合会 昭和29年
Q5	B	筑前琵琶福岡旭会 明治42(1909)年設立。なんと113年の歴史!! 福岡三曲協会 昭和元年設立、帝国華道院九州連合会 昭和6年設立
Q6	B	福岡県高等学校芸術・文化連盟 団体数 179団体、人数 123,895名 福岡県吹奏楽連盟:427団体 24,300名、北九州文化連盟:34団体 5,941名
Q7	A	神奈川県横浜市で生まれ、その後埼玉県岩槻市（現さいたま市）で高校生までを過ごした。
Q8	B	1993年10月から、1年間、主にニューヨークで多くの芸術家と交流し、活動した。
Q9	A	西日本新聞で連載された聞き書きシリーズは「おかげさまで」。「おかあさんにバンザイ」はRKBラジオで土曜夕方に放送されているスマさんのトーク番組。
Q10	A	「第30回ふくおか県民文化祭2022」のテーマは「咲かせよう輝く未来へ！文化とともに」

「咲かせよう 輝く未来へ! 文化とともに」 第30回ふくおか県民文化祭2022

第30回ふくおか県民文化祭2022開催予定

事業区分	開催日	事業名	開催地	会場
分野別事業 11	合唱	第28回ヴォーカルアンサンブル・フェスティバル	福岡市	福岡県立ももち文化センター
	太鼓	福岡県和太鼓フェスティバル	篠栗町	クリエイト篠栗
	吟刺詩舞	福岡県吟刺詩舞道楽連盟結成 45 周年記念大会	筑紫野市	筑紫野市文化会館
	俳句大会	俳句大会	行橋市	コスモイト行橋
	短歌大会	短歌大会	福岡市	福岡商工会議所 4F
	県民茶会	第30回県民茶会	福岡市	大濠公園日本庭園茶会館
	筑前琵琶	第71回筑前琵琶鑑賞会	福岡市	薬院 鷹の会能舞台
	押し花	押し花フェスティバル	福岡市	アクロス福岡 2F 交流ギャラリー
	バレエ	第14回バレエフェスティバル	那珂川市	ミリカローデン那珂川文化ホール
	詩人会	声をとどける一響きあう詩	福岡市	福岡市美術館ミュージアムホール
	県展	第77回福岡県美術展覧会	福岡市他4市	福岡県立美術館 他4会場
地域別事業 9	福岡市	第17回福岡文化連盟祭り 福岡アートビエンナーレ 2022 ～現在(いま)を超えて～	福岡市	福岡市美術館 大濠公園日本庭園
	北九州市	「若戸大橋物語」演劇公演	北九州市	北九州芸術劇場中劇場
	福岡Iブロック	福岡Iブロック芸術文化のつどい	新宮町	そびあしんぐう 大ホール
	福岡IIブロック	第25回福岡IIブロック「芸術の祭典」in 那珂川	那珂川市	ミリカローデン那珂川
	北九州ブロック	北九州ブロック芸術のつどい	直方市	ユメニティのおがた大ホール
	北筑後ブロック	平和な合唱を地域に	朝倉市	ビーポート甘木 大ホール
	南筑後ブロック	南筑後ブロック文化フェスティバル in おおむた	大牟田市	大牟田文化会館
	筑豊ブロック	やるばい筑豊	田川市	田川文化センター
	京築ブロック	第23回京築ふるさと文化祭	築上町	築上町中央公民館、 築上町文化会館(コマーレ)

事業区分	開催日	事業名	開催地	会場
記念式典	12月17日(土)	第30回ふくおか県民文化祭 2022 記念式典	田川市	田川文化センター
子ども文化事業	11月27日(日)	城島こどもフェスティバル 「創作劇 ゆう太のぼうけん ～魔界経典の秘密～」	久留米市	久留米市城島 総合文化センター
	12月10日(土)～ 11日(日)	第25回ジュニアときめき文化祭	大野城市	大野城まどかぴあ
	12月26日(月)～ 28日(水)	大濠公園能楽堂子ども能楽教室	福岡市	大濠公園能楽堂
	10月～12月	県内の小中学校および特別支援学校にて開催予定		
特色ある県民文化 創造事業	10月1日(土)～ 2日(日)	アクロス・クラシックふえすた 2022	福岡市	アクロス福岡
	11月12日(土)	第九を歌うバイ in たがわ 第15回コンサート	田川市	田川文化センター
	11月13日(日)	添田町オーケストラ新能 新作曲「はなぶさ英彦山」【新規】	添田町	そえだ公民館 (オーケストラ)
	11月27日(日)	九州管楽合奏団プレゼンツ 個性豊かな木管楽器の音の共演 ～木管五重奏～	桂川町	桂川町住民センター
	10月16日(日)	筑後川古代史フェスタ 【新規】	久留米市	久留米市シティプラザ (Cボックス)
	11月18日(金)	西日本オペラ協会 「コンセル・ビエール」 創立60周年記念 GALA 【新規】	福岡市	アクロス福岡
	12月4日(日)	「第九」コンサートむなかた	宗像市	宗像リリクス
	①12月4,11,18日(日) ②12月24日(土)～25日(日)	ステージアートプロジェクト Vol.2 「アミノオト」【新規】	福岡市	①福岡市内スタジオ ②ほんプラザホール
県主催事業	12月5日(月)	ふくおか文化 ボランティアフォーラム 2022	福岡市	アクロス福岡
	未定	福岡県文化賞贈呈式	福岡市	アクロス福岡
	11月8日(火)～ 11月15日(日)	2022 ふくおか県 障がい児者美術展	福岡市 筑後市 嘉麻市 田川市 北九州市	福岡県庁 九州芸文館 嘉麻市立織田廣喜美術館 田川文化センター アネックス市民ギャラリー
	未定	ツナガルアートフェスティバル FUKUOKA	未定	未定

「咲かせよう 輝く未来へ! 文化とともに」を統一テーマに、第30回ふくおか県民文化祭2022は9月開催の県美術展覧会を皮切りに、年内いっぱい繰り広げられる。
中止や延期、縮小が相次いだこの2年とは違って、今回は敢えてこの

ナ禍に立ち向かうウィズコロナの祭典になりそう、県文連の文化力が問われる。
加盟団体はそれぞれ、準備を進めているが、分野別で11事業、地域別で9事業が予定されている。
県民文化祭期間中には、芸術体験

講座、2022ふくおか県障がい児者美術展、特色ある県民文化創造事業
開催テーマは、古賀市の中山咲菜さんの作品。応募254点から選ばれた。中山さんは、12月17日、田川

業8なども行われる。
文化センターで開かれる記念式典で、実行委員長の服部県知事から表彰を受ける。

テーマ作者中山さんを12月式典で表彰

芸術体験講座

プロのアーティストを学校に派遣して、子どもたちに真の芸術を体験させる「ふくおか県民文化祭2022芸術体験講座」は、今年で18回を数え、県内の小・中学校、特別支援学校20校で行う。

ジャンルは邦楽、伝統芸能、ダンス、音楽、演劇、総合芸術など、17のプロ集団が参加する。

昨年同様今回も、新型コロナウイルスの感染拡大防止のガイドライン



九州打楽器合奏団が指導

に沿いながら、それぞれのプログラムを工夫して実施する。

芸術体験講座は平成17年度から県内の小・中学校児童生徒を対象に行っており、24年度からは特別支援学校も加わった。県内で活躍するプロ芸術家の26集団・個人の登録を受けて、学校側の要請に応じて派遣している。この18年間に累計473校で実施したことになる。



ワールド・プレスフラワー協会が指導

令和4年度 芸術体験講座実施校(予定)

市町村名	学校名	講座名	開催日	芸術団体名
福岡市	小 呂 小・中	音 楽	9月22日(木)	廣吉里歌子・広沢薫
	き ぼ う 中	総合芸術	9月28日(水)	Officeトゥルース
	三 宅 小	伝統芸能	11月30日(水)	和楽団ジャパンマーベラス
	長 尾 小	ダンス	11月30日(水)	シン・ダンシング・ブリーズ
	当 仁 小	伝統芸能	12月1日(木)	和楽ユニット風絃
	片 江 小	伝統芸能	12月6日(火)	福岡大蔵会
	日 佐 小	総合芸術	12月15日(木)	ワールド・プレスフラワー協会福岡県支部
久留米市	水 縄 小	伝統芸能	10月24日(月)	和楽団ジャパンマーベラス
	水 分 小	音 楽	11月29日(火)	ミュージック コンソート
飯塚市	大 分 小	演 劇	10月19日(水)	劇団さんぽ
	飯 塚 東 小	音 楽	11月2日(水)	SION
行橋市	蓼 島 小	音 楽	11月10日(木)	ふれあいコンサート実行委員会
春日市	春 日 南 小	伝統芸能	9月20日(火)	福岡大蔵会
大野城市	平 野 小	音 楽	9月14日(水)	福岡ホルンアンサンブル
みやま市	開 小	音 楽	9月8日(木)	福岡ホルンアンサンブル
須恵町	須 恵 第 二 小	伝統芸能	9月14日(水)	福岡市能楽協議会
岡垣町	戸 切 小	音 楽	11月11日(金)	九州打楽器合奏団
苅田町	苅 田 中	伝統芸能	10月13日(木)	子どもに能楽を勧める会
築上町	西 角 田 小	演 劇	12月5日(月)	結実企画
県立	小倉聴覚特別支援	伝統芸能	10月27日(木)	山崎崑山・宮本直美

(注)開催日は、変更になる場合があります。

俳句

「青嶺」主宰 岸原清行

「青嶺」は平成十三年、「地平」継承。
師系は野見山朱鳥、児玉南草。岸原は現在、県俳句協会顧問、(社)俳人協会評議員を務める。

金印の謎

海猫鳴くや砂州が生みたる博多湾
星合ひの神へ誘ふ竹灯籠
金印の謎なほ深し天の川

「玄海」主宰 大石靖子

「玄海」は平成六年、小島隆保が博多で創刊。師系は高濱虚子、高濱年尾、稲畑汀子、稲畑廣太郎。花鳥諷詠の理念を現代の視点で問い続ける。平成二十八年三代目主宰となる。

神々の奏づる

山笠の博多のこころ戻りけり
追山笠や三年分のあかとき
神々の奏づる夏越の祓に

「光円」主宰 服部たか子

「光円」は「円」終刊を継ぎ平成二十年七月、田代朝子の下に創刊。二十七年主宰交代。師系は岡部六弥太。自然と人の交響を詠む。

くすぐりの木

幸ひ住む山はあちらか明易し
色あらば何色ならむ熱帯夜
くすぐりの木をくすぐりて風丸し

「さわらび」主宰 介弘紀子

昭和二十二年、川上朴史が大牟田で創刊。平成三十年第四代主宰となる。師系は、稲畑汀子、稲畑廣太郎。客観写生、花鳥諷詠を理念とする。(公・社)日本伝統俳句協会理事。

酷暑

蜘蛛の罫に掛かつてをりし朝の虹
たたなはる万緑の果て海光る
空も色失ふほどの酷暑かな

「自鳴鐘」主宰 寺井谷子

「自鳴鐘」は、昭和十二年横山白虹により創刊、二十三年に復刊。平成十九年横山房子逝去により主宰継承。現代俳句協会副会長を務める。

緑さす

病室に亡夫との写真緑さす
リハビリの歩行を今日も緑さす
原稿・句集ベッドに小積み梅雨の月

「天籟通信」代表 福本弘明

昭和四十年、穴井太が北九州市で創刊。高く遊ぶことを旨とし、自由で個性豊かな集団を目指す月刊同人誌。

黒板消し

樹の上が好きなき子だった秋入日
九月の空黒板消しが叩かれる
真面目にも程があるなり十三夜

「冬野」主宰 持永真理子

「冬野」は、大正十二年創刊。令和三年二月、五代目の主宰継承。師系・高濱虚子、高濱年尾、稲畑汀子、稲畑廣太郎。花鳥諷詠を信条に面白みのある句を目指したい。

甚平

夜濯は一人の世界看取妻
顔見知りにて名は知らぬ夜釣人
甚平の年齢詐称ばれたるも

【俳誌名五十音順】



短 歌

富有柿が色を深めゆく耳納路の無人の駅舎に憩っていたり
ストーブに薪まきの火ピシリと爆ずる音かんかけ峠に雪は降るらむ

古賀 信之
「やまなみ」

近よれば瞳を縦に細くしてわれを疑ふ猫うつくしき
矢部川の光の中の子供たちはしやいだ声が川面に跳ねる

中村 仁彦
「コスモス」

庭の辺に小さき虹をたたしめてカサブランカの花に水やる
楓樹の一木映える厭離庵定家の塚に散れる紅葉葉

中尾 保江
「となみ」

「夏期講座」募集の旗を新しく再起をかけて高く立てたり
間延びせる鴉の声を聞きており姉の葬儀を終えたる夕べ

大内マツノ
「八雁」

騒音のみなぎる夏の交差点わたる人らの影あはあはし
終りゆく夏のひと日の夕ぐれのかなくしのかなかなのこゑ

三輪 良子
「心の花」

県民文化大学・ふるさと文化講座 後半へ

アクロス福岡で開催中の県民文化大学と県民ふるさと文化講座は後半に入ります。

文化のクロスロードを行く」がテーマの県民ふるさと文化講座を行います。

毎月第3木曜日が講義日で、午前10時30分から「貞観政要」を読む理想の政治を求めて」と題した県民文化大学を開講、午後1時からは「街道と旅

貞観政要を読む

アクロス福岡2階セミナー室
10:30~12:00

テーマ
(講師：足田啓佑)

百姓の艱難…

兵甲なる者は…

自ら謙恭にして…

費やす所、徳に過ぐるは…

猛獣、山林に処れば…

君は臣の器を知りて…

街道と旅 文化のクロスロードを行く

アクロス福岡2階セミナー室
13:00~14:30

日 程	テ ー マ	講 師
10月20日(木)	学問・医学伝播の道 秋月街道・日田街道	久留米大学 教授 吉田 洋一
11月17日(木)	海の道を行く 朝鮮通信使	北九州市立自然史・歴史博物館 学芸員 守友 隆
12月15日(木)	幕末志士 国事周旋・九州遊学の旅	日本経済大学経済学部 教授 竹川 克幸
令和5年 1月19日(木)	吉田松陰の 柳川・肥前歴訪	福岡県文化団体連合会 顧問 河村 哲夫
2月16日(木)	第一次長州戦争と 九州諸藩の動向	福岡県文化団体連合会 顧問 河村 哲夫
3月16日(木)	第二次長州戦争と 九州諸藩の動向	福岡県文化団体連合会 顧問 河村 哲夫

ふるさと文化誌 11

『豊前にしえの旅』

修験の里、海陸交通の要

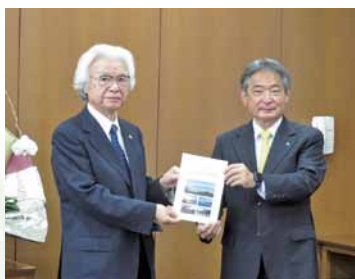
県文連刊行ふるさと文化誌第11弾は『豊前にしえの旅』で、6月に豊前市埋蔵文化財センターで編集委員会を開き、来年3月発行を目標に執筆、編集作業に入った。

編集委員会は、河村哲夫県文連顧問を会長に、栗焼憲児館長ら求菩提資料館、豊前市、同市芸文協、同市文化協会で編成している。

豊前市は、旧築上郡中心部の9町村が合併して、昭和30年(1955)に発足した県内19番目の市。内陸は求菩提山に古くから栄えた修験道の里、という顔と、周防灘に面して宇島港を持ち、国道10号、日豊本線が走る海陸双方の交通の要衝という

二様の顔を持つ。

『豊前にしえの旅』は、神話の世界を含む原始・古代から幕末・明治といにしえを旅して、今日の豊前にたどり着き、現代を浮き彫りにする。



「久留米まち物語」を原口久留米市長に寄贈する宇田川理事長

県文連刊ふるさと文化誌は、定価がワンコインの500円で、郷土を知る手ごろな冊子で、学校の副読本としても使われています。

井生・是澤連携 演劇『空翔ける虎』

大正14年、日本初の訪欧飛行をやつてのけた北九州市出身のパイロットを描いた劇団青春座の演劇

『空翔ける虎』の誕生には、県文連顧問の井生定巳、是澤清一両氏の連携があった。

青春座演劇

『空翔ける虎』

それは3年



井生 定巳さん



是澤 清一さん

前、2019年6月の県文連定期理事会後の交流会で二人がテーブルを共にしたのに始まる。

当時、青春座代表だった井生さんが郷

土シリーズの演劇素材を探している、と語ったのに、是澤さんが「大正時代にローマまで飛んだ男がいますね」。井生さんには初耳で「詳しく教えて」と頼んだのがきっかけ。

この男性は、現在の北九州市小倉南区道原出身の河内一彦（1901〜45）。大正10年、陸軍航空学校に入校。一等飛行機操縦士に昇格した後、12年には大阪朝日新聞（現・朝日新聞）航空部に入社する。

欧州飛行は大正14年（1925）のこと。「民間ではトップを切つて海外親善飛行を」と社内では挑戦計画が持ち上がり、パイロットの一人に

河内が選ばれたのだ。

是澤さんの資料を受けた井生さんは、「若戸大橋物語」などを書いてくれた脚本家の葉月けめこさんに脚本を頼み、田川市美術館長で画家の是澤さんにはポスターの制作を依頼した。

そして『空翔ける虎 河内一彦、日本初の訪欧大飛行へ』は、昨年5月29、30の両日、北九州芸術劇場中劇場で上演された。

河内の操縦するプロペラ機「東風（こちかぜ）号」と僚機「初風号」は、大正14年7月25日、東京から飛び立ち、モスクワ、ベルリン、パリ、ロンドンを経て、10月27日ローマに達するが、舞台はライバル飛行士や幼馴染との友情も交え、苦難を乗り越えて、飛び立つまでを描いた。

ポスターを飾る「東風号」「初風号」の雄姿は是澤さんの作品。

井生さんは、その間に負傷したこともあって青春座代表を退いており、『空翔ける虎』は後任の和田正人代表の下で完成した。

公演は、コロナ休演が続いた反動もあって大盛況だった。当日、河内が故郷近くの西大野神社に寄進した木製プロペラも地元若者たちが持ち込んで、観客を感激させた。

公演は、コロナ休演が続いた反動もあって大盛況だった。当日、河内が故郷近くの西大野神社に寄進した木製プロペラも地元若者たちが持ち込んで、観客を感激させた。



舞台の一場面



勢ぞろい150人 手前が筆者

が楽観しています。

さて、6月10日午前6時10分、フタを開けてびっくり。続々と人が集まって、たちまち150人に膨れ上がったのです。小学生と先生たち、学校と地域を結ぶコーディネーターの皆さん、それに毎回来てくれる常連の顔。テレビのクルーが「大成功」と伝えてくれる盛況でした。

よみがえる

太宰府「時の記念日の行事」

「辰山会」事務局 高瀬昭登

の集落には知られないようにこっそり、上級生の先導で時間びつたりの練習をしたものでした。

しかし、高度経済成長期を迎えると、地域の伝統行事は急速に失われ、太宰府の「時の記念日」の行事も昭和40年代までで行われなくなりました。

漏刻の辰山望む都府楼

私たち太宰府の「辰山会」は、コロナ禍で中止していた「時の記念日の行事」を令和4年の今年、3年ぶりに開催することができました。

6月10日6時10分、150人

会場の都府楼跡（太宰府政庁跡）周辺にのぼりを数本立てただけで、例年なら200通の案内ハガキは自粛しており、多くの参加は見込めず、私は「まあ良くて30人止まり」と思っていました。会長の川口豊治は「いいいや、もっと集まるよ」となぜ

「時の記念日」は天智天皇が671年、近江大津宮に「漏刻」と呼ばれる水時計を設けた4月25日が新暦では6月10日に当たるということで、大正10年（1921）、東京天文台などの提唱で始まったそうです。各地で記念行事が行われ、太宰府では、奈良時代に漏刻があったという「辰山」（現「月山」）を望む都府楼跡が会場になったのです。

昭和12年（1937）の水城尋常



「水城村地勢の歌」パネル

後半生かけた城戸先生

それが平成元年（1989）、復活したのです。水城尋常高等小学校教員から、中学、高校を歴任された城戸満先生が、その復活に後半生を懸け、元市長や市議など有力者に働きかけられたのです。

私もまだ、NHK福岡の現役だった頃で、休日に御笠川でフナ釣りしていたところに先生が見え「記念日再興に協力を」と熱心に説かれました。のちにスタジオ番組に出てもら

い「悠久の歴史を紐解く行事の復活を」と語っていただきました。

でも、せっかく復活したのに2009年、先生が亡くなると、また、取り止め話が…。そこへ当時の井上保廣市長（故人）から「ここで止めたらもう復活はできない…」と、踏ん張りを求める手紙が届きました。

学校・地域の一丸協力で

気を取り直して、まず学校や地域の協力をいただける態勢づくりに努めました。水城小をはじめ学校では「地域で学び、地域で育てる」という理念で「コミュニティースクール活動」が進められるようになりました。

史跡で学んだ子どもたちは、一
日歴史ガイドを立派に務めます。

地域文化芸術 フォーラム＆ リーダー研修会

10月13日開催「文化・芸術をつなぐ伝える」

令和4年度の地域文化芸術フォーラム＆リーダー研修会は10月13日午後、吉塚合同庁舎3階研修室で開く。今回も鳥丸聡長崎県立大学教授をファシリテーターに、地域別、分野

別団体のリーダーや文化行政担当者などから選ばれたパネリストが討論を繰り広げる。
第1部地域文化芸術フォーラムは「文化・芸術をつなぐ伝える」

がテーマ。パネリストは宗家藤間流九州代表藤間三富氏、新宮町文化協会会長林陽子氏。
第2部は、ワールドカフェ方式の意見交換で、鳥丸教授が進行役を務め、議論を総括する。



続々記名する参加者たち

「さくらルーム」と名付けた地域交流室では、消しゴム作家とコーディネート、水城跡のクスの間伐材を使った「時の記念日」グッズをこしらえてくれましたが、その様子がテレビ放映されたのも幸いでした。
私たち辰山会を狂喜させた今回の盛況は、このように学校や地域が一丸となった協力の賜物だったのです。

「市民遺産」で守り発展

「時の記念日」の行事は2011年、太宰府市民遺産に認定されました。市民の力で守り発展させていくのです。参加者に500円のカンパをお願いするのは案内ハガキ、パンフ印刷、お茶代など維持運営のためです。

当日は、みんなで『時の記念日の歌』、学業院中学校創立の恩人『宮



記念グッズ

村翁を讀える歌」、さらに『水城村の地勢・度量衡の歌』の3曲を歌います。
へ千幾年の辰山に 偲ぶ帝の水時計 流れも清き白川の 弛まぬ心して（時の記念日の歌）2番
これに、日舞や民話の紙芝居上演をしたこともあります。

2020年は、コロナ禍で行事は中止しましたが、時の記念日百周年の年でした。東経135度の子午線が通る日本標準時の明石市から、時の記念日交流の呼びかけを受けました。歌のビデオを送りました。

こうなると太宰府の「時の記念日行事」もローカルから全国区へ。市民の力を合わせて、守り続けたいのです。

たかせ・あきと 県文連監事、前常任理事、前太宰府市文化協会会長

福岡文化連盟が「天神文化塾」開講中

多士済々。福岡文化連盟の特徴を一言にすると、これが一番しっくりくる。美術、音楽、文芸から伝統芸能まで、大勢の「先生」や「宗匠」



天神文化塾 テーマ「北原白秋」

が個人で参加しているわれわれのよな団体は、県文連のなかでも珍しいだろう。せっかくの人材の宝庫を活かさない手はないと、本年度からスタートしたのが「天神文化塾」だ。毎月第3木曜午後6時半から8時、

「芸談」は面白い

村弘峰さんに「博多に生まれて」をテーマに話してもらった。ちょうど、3人とも縁浅からぬ博多祇園山笠の3年ぶり「昇き山」実施が決まったばかりのタイミング。山笠を昇く魅了を問われた法世さんが「ナウマン象をみんなで追っかける楽しさかなあ」とつぶやき、会場が爆笑したのが印象的だった。トークだけではな

という日時と場所にはこだわった。仕事や学校の帰り、誰でもふらりと気軽に寄れる、そんな場にしたかったからだ。予約なしでもOKで、聴講料は1000円（福岡文化連盟の会員は無料）。9月15日以降の会場はエルガーラオフィス棟6階の久留米大学福岡サテライト。半年運営して感じたのは、「芸談」は、話す本人が思っている以上に面白いということ。みなさんもぜひ一度のぞいてみてください。

福岡文化連盟

092（711）5585

✓まで、世代とジャンルを微妙にずらした講師3人を選び、聴講者の前でトークしてもらう。コーディネートは毎回、歌人の桜川牙子さんをお願いしている。

初回（4月21日）は漫画家の長谷川法世さん、博多人形師の中村信喬さん、その跡取りで若手のホープ中

い。「和洋音楽談義」をテーマにした第3回（6月16日）は米村旭翔さん（筑前琵琶）、杵屋佐和十郎さん（長唄三味線）、原田麻由さん（ピアノ）を招き、全員が演奏した。お客さんのつもりで来た会員が飛び入り参加する楽しいハプニングであった。

写真は「北原白秋」をテーマに話した8月18日の天神文化塾。左から演出家の田中はくどう、女優の大國千緒奈、歌人の小田鮎子、桜川牙子の各氏

文責：北里晋（事務局長）

北原白秋没後80年 九響、地元合唱団

北原白秋が最晩年の昭和14年（1939）に書き上げた長編詩『海道東征』の交声曲（信時潔作曲）が、

12月4日、柳川市民会館水都やながわ白秋ホールで演奏される。柳川では初めての演奏で、同演奏

会実行委員会（会長・立花民雄柳川市文化協会会長）が、白秋没後80年で企画した。

征
川初演



米村さんと宝満山修験道の皆さん

中村旭園追悼演奏会

昨年1月、亡くなった中村旭園さんを追悼する筑前琵琶福岡旭会の演奏会が8月28日、大濠公園能楽堂で行われた。

演奏会は旭園さん作曲の曲目を中心に編成。最初の曲は、筑前琵琶の流祖玄清法印を讃えて旭園さんが作曲、1964年に県無形文化財に指定された「玄清法流琵琶法楽」で、梶谷隆幸さんら僧侶5人

✓めて、という。

庄巻は、旭園さん演奏のビデオ上映。2006年、アクロス福岡円形ホールで「義士の本懐」を力強く演じ切っている。

ビデオで生前の演奏も

まれ、2021年1月、104歳で死去。勲五等瑞宝章、西日本文化賞など。2012年に福岡市無形文化財指定筑前琵琶保持者に認定。

が演奏した。

次は、会長の米村旭翔さんが、宝満山修験道の山伏3人のほら貝と共演で「竈門山」の演奏。竈門神社外で披露されるのはこれが初、中村旭園さんは、1917年生

この後「名犬一文字」、「俊寛、足摺の場」「貧女の一燈」が続き、最後に米村さんら5人が「天の羽衣」を披露して終演した。

交聲曲 「海道東征」 柳



團伊玖磨合唱組曲『筑後川』も

当日は、『海道東征』に先だち、第一部で丸山豊作詞、團伊玖磨作曲の混声合唱組曲『筑後川』を演奏する。

現田茂夫指揮で、管弦楽は九州交響楽団。ソプラノ、アルト、テノール、バリトンのソリスト5人が出演する。コーラスは、筑後川流域コンサート合唱団、柳川海道東征合唱団の計約120人。

最晩年の白秋は、失明状態になり、口述で『海道東征』を創作。記紀を基に日本の始まりを描く一大叙事詩に仕上げた。これで福岡

日日新聞（現・西日本新聞）文化賞を受賞。42年没。

チケットは1階席4千円、2階席3千円。問い合わせは080-7986-19313末永まで。

立花民雄実行委員長の話

『海道東征』は皇紀2600年祝賀で作られた経緯から戦後は敬遠されがちだった。近年、優れた音楽作品と再評価されている。白秋の里としても、ふるさとの曲として、大切に歌い継いでいきたい。

日舞で国際交流「鯉の会」

留学生8人が今様さくら



ウクライナ留学生と西川五郎さん

今年が37回目になる国際文化交流日本舞踊の会「鯉の会」は、戦火を逃れて来福日本経済

希望者を募ったところ、女子学生8人が決まった。発表会では、8人が、短期間ながら懸命に学んだ「今様さくら」を舞う。これに西川さんが常磐津「松島」を披露する。

西川さんは「鯉の会」は37年間、諸外国の留学生千人以上に日舞を通して交流してきた。今回は戦禍を逃れて新天地を求めてきた皆さんで、日本を知ろう、馴染もうという真剣さに打たれた」と話している。

当日は、留学生と入場者との対話、交流の場も設ける、という。

入場整理券（無料）は鯉の会事務局（090-3732-4996）で取り扱っている。

ウクライナ留学生は、2月24日のロシアによる侵攻が始まって以来、4月にかけて相次ぎ来日。同大学は約40人を受け入れている。「鯉の会」を運営する舞踊家、西川五郎さん（県文連特別個人会員）が大学の協力を得て、日舞習得の

「冬野」前主宰阿比留さん
句集『波濤』を刊行

阿比留初見さん

前・県俳句協会会長で句誌「冬野」名誉主宰の阿比留初見さんが、米寿を迎えたのを記念に句集「波濤」を発行した。

阿比留さんは、長崎県対馬出身。「人間、生涯故郷は忘れられないもののように」と、今回は、荒波にもまれてきた生涯を思いつつ、丘に登って茜から初日、そして初明かりと移る景を目の当たりにして得た句

波濤越え
なほも挑めと初明り
から句集名にしたという。

この4年間に「冬野」のほか「ホトトギス」、「土筆」

に掲載された380句を自選した。

竹林の深さを探るかに蛭

迷ひ来て元の道とる探梅行

いふなれば母より祖母の柏餅

1934年対馬生まれ。「冬野」

には、小原菁々子主宰に誘われて70

年に入会。小原、池田昭雄両主宰の

下で12年間、同誌編集長。2014

年「冬野」主宰に就任。昨年から名

誉主宰。02年から「ホトトギス」

同人にも。県俳句協会会長は18年4

月から2年間務めた。



コロナウイルスも随分としぶとい
が、遅まきながら人間の方も耐性が
出来てきたようで、隔離や自宅待機
などはありながらも、社会生
活もある程度は旧に復し、コ
ンサートや演劇などが集ま
る舞台芸術の分野もそろりと
動き出している。

ずっと中止されてきた県文
連の交流会も3年ぶりで開催
することができた。久しぶり
に顔を合わせる方も多かつた
ろうが、すぐにあちこちで談
笑の輪が広がり、直接会って
話を交わすことは大事なのだ
と今更ながら感じられた。そ
れにしてもちよつと声をかけ
れば日舞や吟詠などさつと披
露していただけるし、余興の
カラオケでも鍛えたのを聞
かせていただいた。さすが芸
自慢の県文連の会員さんたち
であり、長年に渡る鍛錬の蓄
積があつてのことであろう。
長年の蓄積といえ、県文連には
驚くほどの歴史を誇る加盟団体がい
くつもある。県文連は今年度設立30

「文化芸術をつなぐ 伝える」

周年を迎えるのだが、まだまだヒ
ヨッコだ。最長の歴史を誇るのは「筑
前琵琶福岡旭会」。なんと設立は明治
42(1909)年！ 日露戦争
終結からまだ数年、夏目漱石
や森鷗外が活躍していた時期
と思うと何とも言葉がない。

分野別団体では戦前の設立
が他に2団体、地域別では昭
和20年代の設立が3団体もあ
る。ご興味がある方は会報6
〜7ページの記事をご覧ください
だくとして、この長い年月に
わたり活動を継続するにはど
れほどのご苦労や献身があつ
たのだろうか。先人の努力を
思うと頭が下がる。

今はコロナの直撃を受け、
さらに少子化、高齢化もあり、
活動の継続は簡単ではない。
そこで今年の県文連フォーラ
ムはテーマを「文化芸術をつ
なぐ 伝える」とさせていた
だいた。この問題を皆さんと
ともに考え、議論したいと思ってい
る。

(江崎)

福岡県文化団体連合会

平成4年(1992)11月、県内で活動する地域別の文化団体67、分野別20の計87団体が参加して結成。
16年秋には、県と協力して第19回国民文化祭ふくおか2004(愛称「とびうめ国文祭」)を推進、大成功
を収めた。創立以来、毎年、県民文化祭を開催するほか、県民文化大学講座など独自の文化企画を展開
している。現在は地域別63団体、分野別26団体、特別個人会員47名が加盟。末端会員は推定20万人。

県文連ふくおか 71号

発行 令和4年9月

福岡県文化団体連合会

専務理事 江崎 雅彦

広報編集委員 古賀 透

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50

TEL 092 (643) 2875

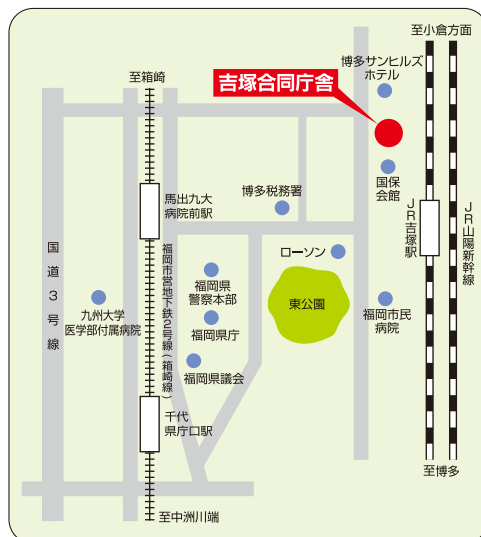
FAX 092 (643) 2876

印刷 協文社印刷株式会社

〒819-0001 福岡市西区小戸4丁目24-5

TEL 092 (891) 0411(代)

FAX 092 (891) 7288





ふくおかの文化をはつらつと

福岡県文化団体連合会

Fukuoka Prefecture Cultural Group Federation



ホームページは「県文連」で検索

県文連



賛助会員のご紹介

企業 団体会員

- (公財)アクロス福岡
- アジア美術家連盟 日本委員会
- 飯塚信用金庫
- 英進館(株)
- (株)エルテックス・ヨシダ
- (有)海鳥社
- 九州電力(株)
- (公財)九州交響楽団
- (株)九電工
- 久留米運送(株)
- (公財)末永文化振興財団
- 西部ガスホールディングス(株)
- (株)如水庵
- 人生史サークル黄櫨の会
- 蝶屋(株)
- (株)西日本シティ銀行
- 西日本鉄道(株)
- 西日本プラント工業(株)

個人会員

- (公財)日本習字教育財団福岡事務所
- (株)日本旅行福岡支店
- (株)ひよ子
- (株)ピアノターミナル・ナカムラ
- 福岡県教育庁部課長会
- 福岡県教育庁参事・補佐会
- (株)福岡銀行
- 福岡県信用保証協会
- ふくおかアジア文化塾
- (株)福岡こどもクラブ
- (NPO)文化ボランティア
- とびうめの会
- (株)山口油屋福太郎
- (50音順)
- 唐川 茂樹
- 岡 征二
- 王寺陽一郎

賛助会員の募集

福岡県文化団体連合会では、福岡県の文化振興並びに文化活動を側面から支援していただく企業及び個人の賛助会員（企業・団体1口：1万円、個人1口：5千円）を募集しています。この機会に、賛助会員として加入していただき、新たな県民文化創造へ継続的にご支援、ご参加くださいますようお願いいたします。

賛助会員に
対する特典

- 1 会報「県文連ふくおか」の送付(年2回)
- 2 会報とホームページへの賛助会員の掲載と紹介
- 3 その他、県文連主催行事、関係情報の提供

〈加入方法〉

福岡県文化団体連合会事務局

TEL.092-643-2875に連絡ください。

追って手続き書類をお送りしますのでよろしくお願いいたします。